

ひまわり通信



№ 1 3

平成 21 年 1 月 9 日

新潟市立東青山小学校

校長 斎川 英子

児童数 609人

(231)9611 fax(231)9623

<http://www.niigata-inet.or.jp/higashi/>

<http://www.niigata-inet.or.jp/higashi/i/> (携帯用)

E-mail h-aoyama@niigata-inet.or.jp

新年、明けまして

おめでとうございます。

今年が皆様にとりまして、よい年になりますことを祈念申し上げます。

東青山小学校の教職員は、子どもたちのためによい仕事を精一杯やることを誓い合って、2009年をスタートしました。これまで同様、ご支援・ご協力をよろしくお願いします。

自分が頑張れば何かが起きる

昨日、冬休み明けの全校朝会がありました。子どもたちは、年頭に決めた今年のめあてをもって、体育館に並びました。校歌斉唱が、いつもより張り切った歌声に聞こえたのはそのせいでしょうか。

今年も頑張るぞという気持ちの子どもたちに、私は、箱根駅伝で東洋大学を初優勝に導いた柏原選手の話をしました。

柏原竜二選手は、山登りの5区を走りました。9位でたすきを受け継いで、最初の5kmを無謀とも言える14分台で走り抜きました。そして、次々と前を走る他の選手を追い抜き、とうとう先頭に立ったのです。テレビ画面に映し出されたレース中の活躍は感動的でした。そして、レース後のインタビューも心に残るものでした。

「自分が頑張れば何かが起きると思った。奇跡を起こすことができてよかった。」と話していました。

「自分が頑張れば何かが起きる」という言葉は、挑戦することのすばらしさを教えてくれます。他の人に任せることなく、自分自身が頑張ることの大切さも教えてくれます。

一人一人の子どもが、新しい年の新しいめあてに向かって、「自分が頑張れば何かが起きる」の気持ちをもち続けて努力をしてほしいと願っています。

そして、私たちは、子どもたちの努力を心を込めて見守り、励まし、導くような大人でありたいと思います。

学校と家庭と地域が力を合わせて、子どもたちの心強い応援団となりましょう。

あいさつは思いやりの心の基本です。

今、学校では全校をあげて、あいさつ運動を展開しています。

学校でのあいさつが、地域に広がっていくように働き掛けているところです。毎朝、登校を見守ってくださる方々へのあいさつはもちろんですが、近所の人、町内の方々にも、自分から進んであいさつができるようになってほしいと願っています。



